

愛知県がんセンター 概 要

令和2年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

目 次

目 的	2
沿 革	2
設置の根拠	3
施設の概要	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	18
備品 附属施設	
病院業務	19
診療科目等 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務	27
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較	30
外来診療案内・入院案内	31
交通案内	32

目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

沿 革

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床 8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター / 緩和ケアセンター開設
平成26年 9月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0）
平成27年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成28年10月 1日	サルコマーセンター開設
平成29年 4月 1日	個別化医療センター開設
平成30年 4月 1日	リスク評価センター開設
平成31年 3月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4月 1日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和元年 9月19日	がんゲノム医療拠点病院の指定

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置
 現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

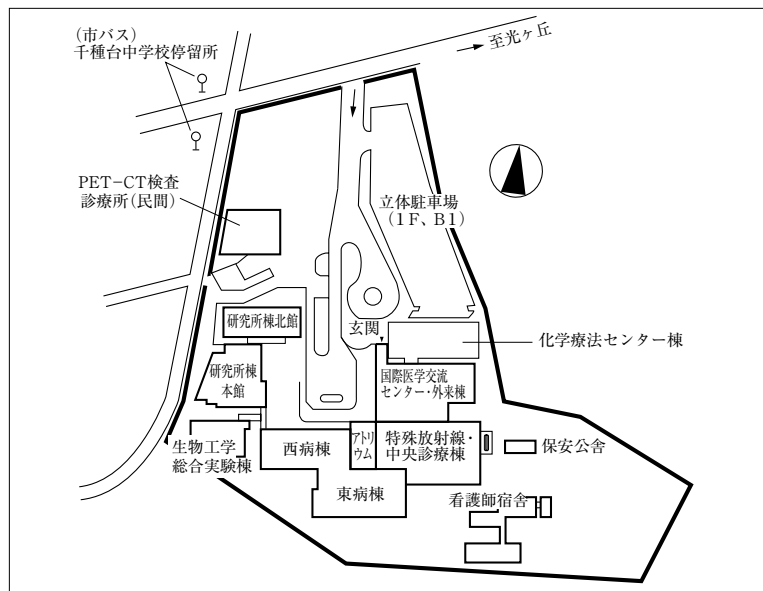
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(令和2年4月1日現在)



土地・建物

(令和2年4月1日現在)

区分	構造・規模	延床面積	
土地		49,788.56 m ²	
建物	合計	72,941.06 m ²	
	病棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m ²
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m ²
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m ²
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m ²
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造 2層建	6,312.07 m ²
その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m ²	

病院

(令和2年4月1日現在)

(東) 病棟 (西)

		内 容	病床数	階別	内 容	病床数
		機械室		塔屋	機械室	
		特別病棟 (混合)	25床	9階	特別病棟 (混合)	25床
		特別病棟 (混合)	30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸 部外科、治験、緩和ケア(緊急))	50床
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・ IVR科、呼吸器内科、消化器内科、整形外科)	49床
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科)(4床) (頭頸部外科、脳神経外科)	一般病棟 (46床)	50床	5階	一般病棟(女性専用) (婦人科、乳腺科、形成外科、頭頸 部外科、呼吸器内科、消化器内科)	50床
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、 薬物療法科、整形外科)	50床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)、リスク評価センター		3階	管理部門(総長室、病院長室等)	
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門(医局等)	
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門(運用部等)	
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室	

(病床合計 500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門(薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門(供給室等)、カルテ、フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門(ミキシング室等)

がんゲノム医療センター

がんゲノム医療センターは、平成31年3月28日に新たに開設されたがんゲノム医療専門の部門である。当院が愛知県唯一のがんゲノム医療拠点病院に指定された後の令和元年10月16日からは、保険および自費診療によるがん遺伝子パネル検査を実施するためのがんゲノム外来を開始した。医師のみならず、認定遺伝カウンセラー、看護師、ゲノム研究者など多職種で構成され、外来での検査の実施や結果の説明だけでなく、検査結果から推奨される治療薬を提案するためのエキスパートパネルと呼ばれる専門家会議を週一回開催している。チーム医療で、院内はもとより東海地域からの紹介患者に対応し、一人ひとりのゲノム情報を適切ながん診療につなげる窓口として機能している。



リスク評価センター

平成30年4月に、院内ならびに東海地域における遺伝性腫瘍診療の拠点として開設されたリスク評価センターは、遺伝性腫瘍患者やその血縁者のがん治療や予防などの健康管理を目的とする遺伝医療専門の部門である。専任の臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが、遺伝カウンセリングを通じて、がんの遺伝的リスクの評価、必要に応じた遺伝学的検査の機会の提供、多診療科や連携医療機関とチームを組んでの医学的管理の提供、心理社会的支援などを行っている。多遺伝子パネルを用いた遺伝学的検査、がんゲノム医療支援など、最先端医療に対応するとともに、早期からの遺伝性腫瘍のスクリーニング実施など愛知県がんセンター独自の取り組みも行っている。



臨床試験部 (介入研究支援室・観察研究支援室・試験支援室)

臨床試験部は、介入研究支援室、観察研究支援室及び試験支援室から成り、介入研究支援室は承認申請を目的とした治験を始めとする臨床研究を支援しており、観察研究支援室は非介入研究を、また、試験支援室は治験を除く臨床研究の事務的支援を行っている。当センターでは、数多くの抗がん剤の治験を受託しており(約190件/年)、最近では多くの国際共同治験への参加、医師主導治験も実施している。また、平成30年4月の臨床研究法の施行に伴い、当院は、臨床研究審査委員会の認定を取得している。臨床研究の法整備に対応して、臨床試験部は、当センターにおけるより円滑な臨床研究の実施を目指し、支援体制を整備している。

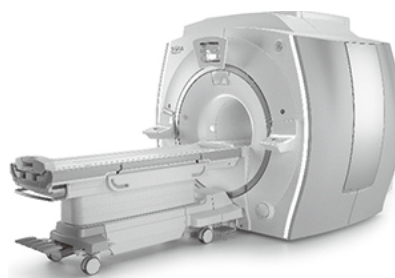
先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設定し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンターでは、令和2年4月1日現在、「術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)」を始め5種類の医療技術について提供している。

MRI (Magnetic Resonance Imaging)

平成31年3月にMRI装置が1台増設された。MRI装置は磁石と電波により体内から情報を取り出し画像化する診断装置であり、放射線被曝が無く、任意の断面が撮影可能であるとともにコントラスト分解能が高いため、病態変化の検出に優れ、がんの早期診断や治療効果判定等に有用である。新しいMRI装置も既存装置と同様に3テスラの強い静磁場強度であるとともに、エアコイルと呼ばれる新しいコイルが装着されている。このような新しい技術の導入により、画質の向上や撮像時間の短縮が可能となり、より精彩な画像を取得することができる。



リニアック (放射線 外部照射装置)

当院には3台の外部照射装置がありいずれも高精度放射線治療に対応しているが用途に応じて適応を考慮し運用している。平成18年に強度変調放射線治療(IMRT)専用機であるトモセラピーを新規導入したが令和元年に最新機のRadixactへ更新した。トモセラピーの特徴である広範囲で複雑な形状の病変に対して質の高いIMRTが実施できる点に加え、新規治療装置では従来機より照射時間短縮、線量低減、治療品質改善が達成され、より高精度の治療を患者さんに提供できる。高精度放射線治療のニーズは今後いっそう増加するのでより高品質な放射線治療を提供することが期待できる。



Image provided by Accuray Japan K.K.

研究所

(令和2年4月1日現在)

研究所棟本館

	7フロア	南	北	7フロア	
生物学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館
	5階	腫瘍免疫応答研究分野	腫瘍免疫制御TR分野	5階	
	4階	分子診断TR分野	腫瘍制御学分野	4階	
	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	
	2階	がん予防研究分野	分子腫瘍学分野	2階	
空調機械スペース	4階			4階	空調機械スペース
分子遺伝学分野 個別化医療TR分野	3階			3階	総長室 セミナー室 がん情報・対策 研究分野 システム解析学分野 他
共通機器室管理室 バイオバンク部門 医局	2階			2階	図書室 共通機器室 小会議室 他
バイオバンク部門 共通機器室 学生研修室・更衣室 会議室	1階			1階	運用部電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室	地階			地階	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた実験が行われている。1階には共通機器室の機器室・実験室、RI実験室が置かれている。2階から5階には8つの分野の研究室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、2つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セミナー

室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階、2階は、平成29年度に改修され、1階にはがんセンターバイオバンク愛知のフリーザー室、共通機器室、看護学生研修室、会議室が整備された。2階には、従来からある共通機器室管理室に加えて、同バイオバンクの作業室、病院医局が整備された。3階は、令和元年度に大規模な改修が行われ、2つの分野の研究室が整備された。



1. デジタルPCRシステム

デジタルPCRシステムは、微小分画（ドロップレット）内で遺伝子増幅反応（PCR）を行うことにより、微量にしか発現しない遺伝子を定量する装置である。高感度、高精度、高速で定量することが可能であり、1細胞単位での解析が可能となる装置である。がんゲノム解析研究において、微量な遺伝子発現、変異、コピー数の変化の解析は、必須となっている。



2. 生細胞解析システム

生細胞解析システムは、多検体の培養細胞を培養装置内で経時的に顕微鏡観察できる装置である。様々な条件、薬剤処理した細胞の生死や、運動、細胞障害等を経時的に撮影、解析することができる。多数の検体を一度に解析できる機器は、個人レベルで最適な治療薬を見つける個別化医療の実現に向けて強力な武器となる。



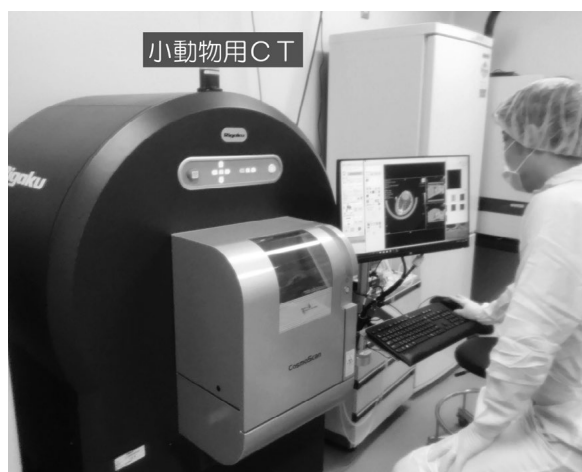
3. オールインワン蛍光顕微鏡

蛍光顕微鏡は、蛍光物質が発する光を利用して、目的のタンパクが細胞や組織中の何処に存在するかを観察する顕微鏡である。通常の蛍光顕微鏡と違って、オールインワン顕微鏡では暗室が不要で、クリアな画像を撮影できる。また、細胞および組織内のタンパクの局在や発現量を経時的に追跡すること（タイムラプス法）も可能である。



4. 小動物用CT

マウスなどの小実験動物用CT撮影装置。非侵襲的に実験動物体内の腫瘍組織を同定し、定量することができる。がんの骨転移病変の描出、定量はCTなしでは不可能である。非侵襲的に繰り返し撮像できるので、抗がん剤の効果を経時的に追跡する際も威力を発揮する。体組成も高精度で定量でき、腫瘍進展に伴う骨格筋・脂肪組織の萎縮の解析にも有用である。



組織と職員定数

組 織 (令和2年4月1日現在)



役職者一覧表

(令和2年4月1日現在)

役職者一覧表			役職者一覧表		
役職名	氏名	備考	役職名	氏名	備考
総長	高橋 隆		循環器科部長	山本 充	
副総長	榑野 正人		緩和ケア部長	下山 理史	
運用部	運用部長	山本 雅史	精神腫瘍科部長	小森 康永	
	経営戦略課長	細井 功	看護部長	林 美子	副院長(兼)
	管理課長	川津 弘之	薬剤部長	梶田 正樹	
	病院長	丹羽 康正	臨床薬剤部長	松崎 雅英	
病院	副院長	岩田 広治	栄養管理部長	田近 正洋	内視鏡部長(兼)
		清水 泰博	医療安全管理部長	岩田 広治	副院長(兼)
		樋田 豊明	臨床試験部長	安藤 正志	
		室 圭	医療情報管理部長	樋田 豊明	副院長(兼)
		林 美子	外来化学療法センター長	室 圭	副院長(兼)
	消化器内科部長	原 和生	サルコマーセンター長	筑 紫 聡	整形外科部長(兼)
	内視鏡部長	田近 正洋	リスク評価センター長	井本 逸勢	
	呼吸器内科部長	樋田 豊明	がんゲノム医療センター長	井本 逸勢	リスク評価センター長(兼)
	血液・細胞療法部長	山本 一仁	個別化医療センター長	欠	
	薬物療法部長	室 圭	地域医療連携・相談支援センター長	樋田 豊明	副院長(兼)
臨床検査部長	欠	緩和ケアセンター長	下山 理史	緩和ケア部長(兼)	
遺伝子病理診断部長	細田 和貴	研究所長	高橋 隆	事務取扱	
輸血部長	山本 一仁	副所長	関戸 好孝		
頭頸部外科部長	花井 信広		井本 逸勢	リスク評価センター長(兼)	
形成外科部長	高成 啓介	がん情報・対策研究分野長	伊藤 秀美		
呼吸器外科部長	黒田 浩章	がん予防研究分野長	松尾 恵太郎		
乳腺科部長	岩田 広治	分子遺伝学分野長	井本 逸勢	リスク評価センター長(兼)	
消化器外科部長	清水 泰博	がん病態生理学分野長	青木 正博		
整形外科部長	筑 紫 聡	分子腫瘍学分野長	関戸 好孝	副所長(兼)	
リハビリテーション部長	吉田 雅博	システム解析学分野長	山口 類		
泌尿器科部長	曾我 倫久人	腫瘍制御学分野長	小根山 千歳		
婦人科部長	鈴木 史朗	腫瘍免疫応答研究分野長	籠谷 勇紀		
脳神経外科部長	服部 和良	腫瘍免疫制御トランスレショナルリサーチ分野長	松下 博和		
麻酔科部長	仲田 純也	分子診断トランスレショナルリサーチ分野長	田口 歩		
集中治療部長	小森 康司	がん標的治療トランスレショナルリサーチ分野長	衣 斐 寛 倫		
放射線診断・IVR部長	稲葉 吉隆	個別化医療トランスレショナルリサーチ分野長	欠		
放射線治療部長	古平 毅	共通機器室長	青木 正博	がん病態生理学分野長(兼)	
外来部長	堀尾 芳嗣	バイオバンク部門長	松尾 恵太郎	がん予防研究分野長(兼)	
手術部長	伊藤 誠二				

職種別・職員定数一覧表

(令和2年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総数		778	31	694	53
事務		36	30	6	
医療社会事業員		1		1	
医師		161	1	131	29
歯科医師		2		1	1
理学士・研究員		13		1	12
診療放射線技師		29		29	
理学療法士		5		5	
言語聴覚士		1		1	
作業療法士		1		1	
薬剤師		40		40	
臨床検査技師		32		31	1
臨床工学技士		7		7	
看護師		399		399	
看護助手		1		1	
栄養士		3		3	
歯科衛生士		1		1	
その他給食関係職員		15		15	
臨床試験コーディネーター		14		14	
遺伝カウンセラー		3		3	
診療情報管理士		4		4	
研究補助		10			10

管理業務

会計予算

(収益の収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和元年度当初予算	令和2年度当初予算
(事業収益)		24,256,938	26,772,591
医業収益		21,060,530	23,472,095
	入院収益	9,876,487	10,287,180
	外来収益	9,199,115	11,015,663
	一般会計負担金	831,911	1,001,281
	その他医業収益	1,153,017	1,167,971
医業外収益		3,196,408	3,300,496
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,611,452	1,698,805
	一般会計補助金	4,504	4,246
	国庫補助金	13,681	33,795
	長期前受金戻入	134,853	126,123
	資本費繰入収益	796,109	797,730
	その他医業外収益	635,808	639,796
特別利益	特別利益	0	0
(事業費用)		23,484,917	25,912,155
医業費用		23,286,280	25,692,725
	給与費	8,808,302	9,329,137
	材料費	9,868,045	11,120,823
	経費	2,460,296	3,019,108
	減価償却費	1,375,369	1,467,072
	資産減耗費	67,439	33,279
	研究研修費	706,829	723,306
医業外費用		193,637	214,430
	支払利息・金債諸費	61,654	60,035
	長期前払消費税償却	54,851	62,918
	雑損失	7,001	7,001
	消費税及び地方消費税	70,131	84,476
特別損失		0	0
予備費	予備費	5,000	5,000
差引損益		772,021	860,436

(資本的収入支出)

(単位 千円)

(款)項	目	金 額	
		令和元年度当初予算	令和2年度当初予算
(資本的収入)		2,193,427	1,723,733
企業債	企業債	1,369,500	900,800
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	798,927	797,933
雑収入	雑収入	25,000	25,000
(資本的支出)		3,079,833	2,500,280
建設改良費		219,081	370,486
	建設費	0	0
	改良費	219,081	370,486
資産購入費		1,607,677	961,192
	医療器械購入費	1,223,822	580,939
	備品購入費	50	50
	リース債務費	383,805	380,203
企業債償還金	企業債償還金	1,253,075	1,168,602
収 支		△ 886,406	△ 776,547

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業収益	18,299,986	20,189,060	21,137,666	21,768,402	22,900,424	
内 訳	入院収益	8,144,735	8,470,312	8,609,581	8,799,421	8,979,954
	外来収益	5,944,954	7,053,008	7,903,662	8,448,080	9,286,069
	一般会計負担金	2,385,351	2,684,520	2,591,071	2,439,078	2,443,363
	その他	1,824,946	1,981,220	2,033,352	2,081,823	2,191,038
特別利益	0	0	0	0	0	
事業費用	17,706,041	19,202,058	20,309,915	21,268,280	22,807,287	
内 訳	給与費	7,488,279	7,669,260	7,973,624	8,177,679	8,533,312
	その他	10,217,762	11,532,798	12,336,291	13,090,601	14,273,975
特別損失	0	0	0	0	0	
経常損益	593,945	987,002	827,751	500,122	93,137	
純損益	593,945	987,002	827,751	500,122	93,137	

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

がん患者状況（院内登録）

年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2018

※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~ D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19~C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房 がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,552	56	211	103	72	56	130	208	308	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,683	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	27	42	12	153
平成10年(1998)	1,805	63	284	129	72	73	139	257	311	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,069	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	193
平成14年(2002)	2,218	120	274	152	114	63	213	335	347	149	112	47	66	10	216
平成15年(2003)	2,296	124	276	161	118	61	207	326	327	160	148	51	79	8	250
平成16年(2004)	2,398	138	307	161	115	65	224	316	334	185	149	56	56	7	285
平成17年(2005)	2,641	163	331	172	169	81	236	347	379	196	144	45	65	11	302
平成18年(2006)	2,771	166	367	189	171	67	194	365	430	205	177	67	64	14	295
平成19年(2007)	2,832	178	358	175	181	75	219	359	423	175	204	66	45	19	355
平成20年(2008)	2,677	151	360	167	158	55	176	306	430	200	198	55	38	14	369
平成21年(2009)	2,970	166	320	165	161	85	265	402	440	264	231	56	36	22	357
平成22年(2010)	3,039	180	350	191	168	98	226	416	460	245	226	54	33	12	380
平成23年(2011)	3,039	182	330	174	156	77	262	412	498	208	227	59	38	15	401
平成24年(2012)	3,069	214	356	177	184	63	269	366	514	231	192	48	28	10	417
平成25年(2013)	3,067	187	331	181	158	65	296	388	535	221	192	64	30	15	404
平成26年(2014)	3,002	202	280	179	160	70	278	459	522	203	178	54	10	6	401
平成27年(2015)	3,071	168	334	185	186	66	282	473	489	170	213	50	2	5	448
平成28年(2016)	3,436	210	379	210	150	61	332	533	569	180	234	51	65	11	451
平成29年(2017)	3,585	243	360	209	188	69	306	539	574	188	237	57	88	12	515
平成30年(2018)	3,620	239	336	245	189	81	312	560	549	214	233	56	88	16	502
合計	105,624	4,812	18,068	5,683	5,367	2,511	8,216	12,824	17,956	10,480	4,272	1,834	2,170	624	10,807

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964-2018 ※平成8年までは、ICD9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位 全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年(1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年(1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年(1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年(1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年(1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年(1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年(1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年(1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年(1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.5	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.2
平成9年(1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.9	8.0	4.3	1.6	2.5	0.7	9.1
平成10年(1998)	100.0	3.5	15.7	7.1	4.0	4.0	7.7	14.2	17.2	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年(1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年(2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年(2001)	100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年(2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年(2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年(2004)	100.0	5.8	12.9	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.3	2.3	0.3	11.9
平成17年(2005)	100.0	6.2	12.5	6.5	6.4	3.1	8.9	13.1	14.4	7.4	5.5	1.7	2.5	0.4	11.4
平成18年(2006)	100.0	6.0	13.3	6.8	6.2	2.4	7.0	13.2	15.5	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.6
平成19年(2007)	100.0	6.3	12.7	6.2	6.4	2.6	7.7	12.7	14.9	6.2	7.2	2.3	1.6	0.7	12.5
平成20年(2008)	100.0	5.6	13.4	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.1	7.5	7.4	2.1	1.4	0.5	13.8
平成21年(2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年(2010)	100.0	5.9	11.6	6.3	5.5	3.2	7.4	13.7	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.5
平成23年(2011)	100.0	6.0	10.9	5.7	5.1	2.5	8.6	13.6	16.4	6.8	7.5	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年(2012)	100.0	7.0	11.6	5.7	6.0	2.1	8.8	11.9	16.7	7.5	6.3	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年(2013)	100.0	6.1	10.8	5.9	5.2	2.1	9.7	12.7	17.4	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.1
平成26年(2014)	100.0	6.7	9.3	6.0	5.3	2.3	9.3	15.3	17.4	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.4
平成27年(2015)	100.0	5.5	10.9	6.0	6.1	2.1	9.2	15.4	15.9	5.5	6.9	1.6	0.1	0.2	14.6
平成28年(2016)	100.0	6.1	11.0	6.1	4.4	1.8	9.7	15.5	16.6	5.2	6.8	1.5	1.9	0.3	13.1
平成29年(2017)	100.0	6.8	10.0	5.8	5.2	1.9	8.5	15.1	16.1	5.2	6.6	1.6	2.5	0.3	14.4
平成30年(2018)	100.0	6.6	9.3	6.8	5.2	2.2	8.7	15.5	15.2	5.9	6.4	1.5	2.4	0.4	13.9
合計	100.0	4.6	17.1	5.4	5.1	2.4	7.8	12.1	17.0	9.9	4.0	1.7	2.1	0.6	10.2

登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計）1964－2017

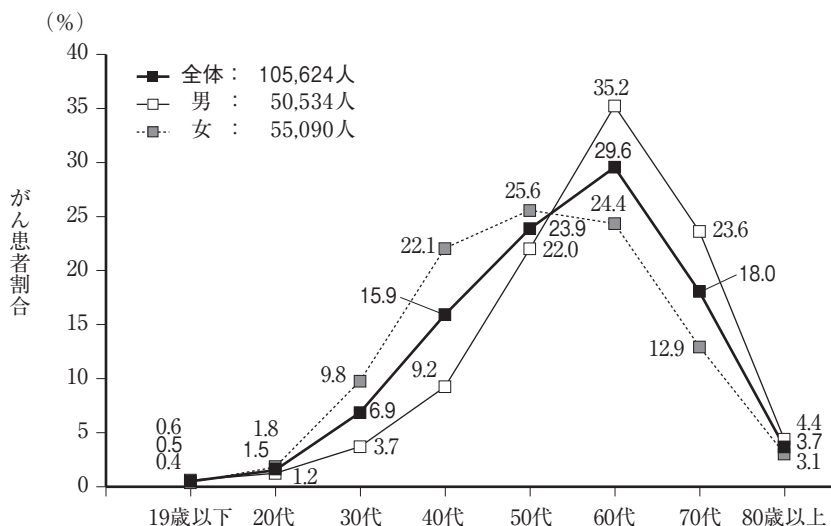
登録（診断）年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年（1965）	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年（1966）	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年（1967）	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年（1968）	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年（1969）	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年（1970）	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年（1971）	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年（1972）	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年（1973）	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年（1974）	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年（1975）	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年（1976）	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年（1977）	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年（1978）	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年（1979）	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年（1980）	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年（1981）	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年（1982）	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年（1983）	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年（1984）	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年（1985）	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年（1986）	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年（1987）	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年（1988）	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年（1989）	1,287	1,008	883	819	784	757	641
平成2年（1990）	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年（1991）	1,298	1,080	943	873	826	786	684
平成4年（1992）	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年（1993）	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年（1994）	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年（1995）	1,545	1,259	1,095	992	931	900	759
平成8年（1996）	1,552	1,282	1,122	1,009	966	912	777
平成9年（1997）	1,683	1,406	1,211	1,100	1,036	993	844
平成10年（1998）	1,805	1,467	1,286	1,175	1,108	1,053	889
平成11年（1999）	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年（2000）	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年（2001）	2,069	1,676	1,485	1,365	1,272	1,207	1,002
平成14年（2002）	2,218	1,823	1,576	1,413	1,318	1,256	1,055
平成15年（2003）	2,296	1,908	1,664	1,536	1,436	1,362	1,157
平成16年（2004）	2,398	2,028	1,737	1,589	1,505	1,434	1,237
平成17年（2005）	2,641	2,238	1,947	1,777	1,674	1,613	1,386
平成18年（2006）	2,771	2,367	2,089	1,944	1,838	1,778	1,538
平成19年（2007）	2,832	2,416	2,155	2,003	1,899	1,819	1,573
平成20年（2008）	2,677	2,340	2,125	1,978	1,853	1,771	1,577
平成21年（2009）	2,970	2,534	2,253	2,080	1,977	1,897	1,728
平成22年（2010）	3,039	2,619	2,309	2,125	2,006	1,935	
平成23年（2011）	3,039	2,629	2,332	2,172	2,075	1,986	
平成24年（2012）	3,069	2,658	2,357	2,176	2,067	2,020	
平成25年（2013）	3,067	2,609	2,325	2,182	2,110	2,089	
平成26年（2014）	3,002	2,591	2,338	2,229	2,212	2,198	
平成27年（2015）	3,071	2,640	2,447	2,418	2,386		
平成28年（2016）	3,436	3,058	3,012	2,969			
平成29年（2017）	3,585	3,329	3,249				

登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（%）（男女計）1964－2017

登録（診断）年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.8
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.7
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.1
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.2	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.5	72.0	65.4	61.6	59.0	50.1
平成10年（1998）	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.3
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.3	48.4
平成14年（2002）	82.2	71.1	63.7	59.4	56.6	47.6
平成15年（2003）	83.1	72.5	66.9	62.5	59.3	50.4
平成16年（2004）	84.6	72.4	66.3	62.8	59.8	51.6
平成17年（2005）	84.7	73.7	67.3	63.4	61.1	52.5
平成18年（2006）	85.4	75.4	70.2	66.3	64.2	55.5
平成19年（2007）	85.3	76.1	70.7	67.1	64.2	55.5
平成20年（2008）	87.4	79.4	73.9	69.2	66.2	58.9
平成21年（2009）	85.3	75.9	70.0	66.6	63.9	58.2
平成22年（2010）	86.2	76.0	69.9	66.0	63.7	
平成23年（2011）	86.5	76.7	71.5	68.3	65.4	
平成24年（2012）	86.6	76.8	70.9	67.4	65.8	
平成25年（2013）	85.1	75.8	71.1	68.8	68.1	
平成26年（2014）	86.3	77.9	74.3	73.7	73.2	
平成27年（2015）	86.0	79.7	78.7	77.7		
平成28年（2016）	89.0	87.7	86.4			
平成29年（2017）	92.9	90.6				

がん患者 年齢構成図

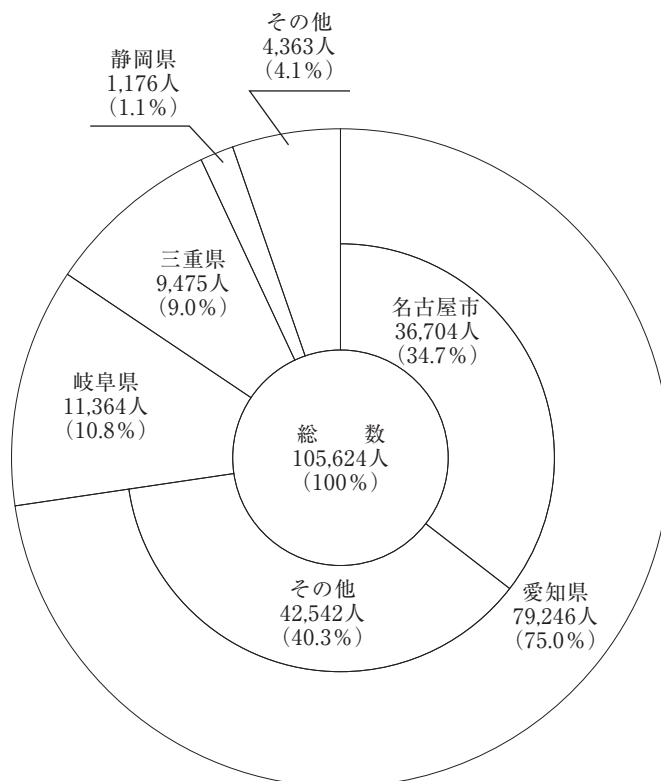
(昭和39年12月～平成30年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	302	625	1,869	4,669	11,116	17,804	11,935	2,214	50,534
	%	0.6%	1.2%	3.7%	9.2%	22.0%	35.2%	23.6%	4.4%	100.0%
女	患者数	227	996	5,387	12,153	14,094	13,417	7,129	1,687	55,090
	%	0.4%	1.8%	9.8%	22.1%	25.6%	24.4%	12.9%	3.1%	100.0%
計	患者数	529	1,621	7,256	16,822	25,210	31,221	19,064	3,901	105,624
	%	0.5%	1.5%	6.9%	15.9%	23.9%	29.6%	18.0%	3.7%	100.0%

がん患者 県別分布数

(昭和39年12月～平成30年12月)



レジデント履修状況

区分	総数	消化器内科コース	呼吸器内科コース	腫瘍内科・血液内科コース	頭頸部外科コース	呼吸器外科・乳腺科コース	消化器外科コース	泌尿器・婦人科・整形外科・形成外科コース	放射線診断コース	放射線治療コース	遺伝子診断コース	麻酔科コース
昭和61年度～平成28年度	1,190	122	64	79	112	164	146	62	96	307	35	3
平成29年度	55	8	3	8	3	11	10	2	3	3	3	1
平成30年度	46	4	3	4	3	10	12	2	5	1	2	0
令和元年度	43	2	2	8	3	9	9	2	3	3	2	0
総数	1,334	136	72	99	121	194	177	68	107	314	42	4

(注) 呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

リサーチレジデント履修状況

区分	総数	がん情報・対策研究コース	がん予防研究コース	分子遺伝学コース	がん病態生理学コース	分子腫瘍学コース	システム解析学コース	腫瘍制御学コース	腫瘍免疫応答研究コース	腫瘍免疫制御TRコース	分子診断TRコース	がん標的治療TRコース	個別化医療TRコース	臨床研究基礎コース
平成13年度～平成28年度	159	17	18	—	15	22	—	18	19	28	—	15	—	7
平成29年度	8	0	2	—	3	2	—	1	0	0	—	0	—	—
平成30年度	6	1	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	—
令和元年度	9	1	2	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	—
総数	182	19	23	0	21	26	0	21	19	29	1	16	0	7

(注) がん情報・対策研究コースは、平成29年度までは疫学・予防学コース

がん予防研究コースは、平成29年度までは遺伝子医療研究コース

がん病態生理学コースは、平成29年度までは分子病態学コース

腫瘍制御学コースは、平成29年度までは感染腫瘍学コース

腫瘍免疫応答研究コースは、平成29年度までは腫瘍免疫学コース

腫瘍免疫制御TRコースは、平成29年度までは腫瘍医化学コース

がん標的治療TRコースは、平成29年度までは腫瘍病理学コース

医療技術者研修受入れ状況

区分	総数	昭和41年度～平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	5,773	5,443	72	66	62	70	60
医師	3,632	3,450	26	36	44	43	33
診療放射線技師	228	226	0	1	1	0	0
臨床（衛生）検査技師	614	582	7	5	6	10	4
看護師	318	302	15	0	0	0	1
その他	981	883	24	24	11	17	22

図書蔵書状況

年度	種類	計	単行本		専門雑誌	
			洋	和	洋	和
受入数	昭和40年度～平成28年度	73,672	11,992	20,893	28,417	12,370
	平成29年度	1,054	75	702	1	276
	平成30年度	900	46	666	0	188
	令和元年度	746	27	550	1	168
除籍累計		22,280	3,665	6,936	9,854	1,825
総数		54,092	8,475	15,875	18,565	11,177

主な備品・設備

備 品 (令和2年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
血管造影検査治療システム	平成19年度	AquilionLB/INFX-8000C 東芝	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Singa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成21年度	Senographe DS Depister GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/RapidEyeCore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA (株)日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線診断装置	令和元年度	BENE0-Fx・CALNEO Smart C77 富士フィルム	1	放射線診断・IVR部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 島津	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	令和元年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和元年度	Radixact X9 Accuray	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内I T Vシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
動物飼育設備	平成11年度	タイガン	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成28年度	LSM800 カールツァイス	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoScanGXII リガク	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (令和2年4月1日現在)

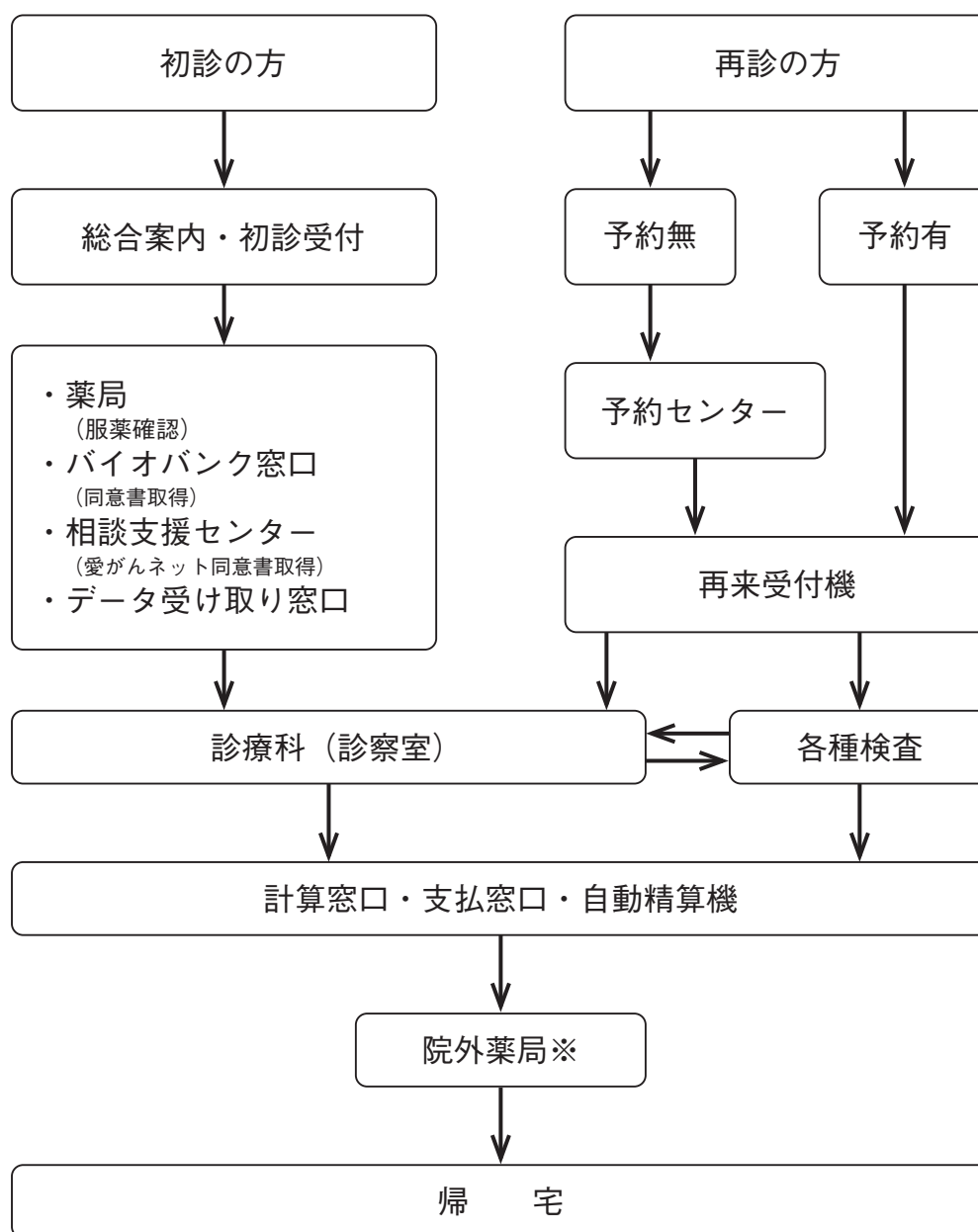
設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷凍機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	4		高圧配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボイラー	2		非常用発電機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫流ボイラー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷温水発生器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空調機	118		電話交換機	1			
	送排風機	322		昇降機	19			

病院業務 (令和2年4月1日現在)

診療科目 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科、リハビリテーション科 計 26診療科

病床数 500床

外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方する場合があります。

外来患者状況

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
診 療 日 数	243	243	244	244	242
新 来 患 者 数	5,240	5,404	5,705	5,502	5,415
患 者 延 数	138,798	139,270	144,006	145,559	145,131
1 日 平 均 患 者 数	571.2	573.1	590.2	596.6	599.7
平 均 通 院 回 数	26.5	25.8	25.2	26.5	26.8
紹 介 患 者 比 率	95.4	96.2	97.1	97.8	98.2
外 来 化 学 療 法 件 数	20,120	21,388	25,249	27,005	27,973

入院患者状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
患 者 総 数	総 数	10,143	10,631	10,923	11,156	10,940
	繰 越	368	354	342	307	328
	新入院	9,775	10,289	10,581	10,849	10,612
退 院 患 者 数	総 数	9,789	10,301	10,616	10,828	10,632
	死 亡	370	346	392	315	361
	その他	9,419	9,955	10,224	10,513	10,271
患 者 延 数		141,559	140,407	141,017	137,547	137,297
1 日 平 均 患 者 数		386.8	384.7	386.3	376.8	375.1
平 均 在 院 日 数		13.5	12.6	12.3	11.7	11.9
病 床 利 用 率		81.8	81.3	81.7	79.7	79.3
病 床 回 転 率		25.3	26.8	27.4	28.8	28.3
死 亡 率		3.8	3.4	3.7	2.9	3.4

住所地別患者数

区 分	住 所 地	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	4,006	74.1%	4,547	79.7%	4,308	78.3%	4,283	79.1%
	名古屋市	2,049	37.9%	2,563	44.9%	2,363	42.9%	2,460	45.4%
	その他	1,957	36.2%	1,984	34.8%	1,945	35.4%	1,823	33.7%
	県 外	1,398	25.9%	1,158	20.3%	1,194	21.7%	1,132	20.9%
	総 数	5,404	100.0%	5,705	100.0%	5,502	100.0%	5,415	100.0%
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	7,565	73.5%	7,828	74.0%	8,095	74.6%	7,933	74.8%
	名古屋市	3,482	33.8%	3,607	34.1%	3,748	34.5%	3,741	35.3%
	その他	4,083	39.7%	4,221	39.9%	4,347	40.1%	4,192	39.5%
	県 外	2,724	26.5%	2,753	26.0%	2,754	25.4%	2,679	25.2%
	総 数	10,289	100.0%	10,581	100.0%	10,849	100.0%	10,612	100.0%

患者給食実施状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院患者延数		141,559	140,407	141,017	137,547	137,297
給食数 (配膳延食数)	総数	288,334	291,474	288,656	277,450	275,840
	一般食	256,580	266,845	263,782	253,126	253,665
	特別食	31,754	24,629	24,874	24,324	22,175

放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数		47,533	51,630	51,296	51,946	50,727
単純撮影		41,545	45,641	45,109	45,298	44,292
造影撮影		4,423	4,707	4,995	5,165	4,920
特殊撮影		1,565	1,282	1,192	1,483	1,515

アイソトープ検査件数

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数		876	834	882	743	743
センチスキヤン		576	537	502	387	383
センチネルリンパ		296	271	341	331	305
動態計測		4	26	39	25	55

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総件数		18,350	19,270	20,363	22,933	24,191

超音波断層撮影件数

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数		3,990	4,243	4,226	3,903	3,302
部 位 別	甲状腺	250	290	325	319	334
	乳腺	832	890	802	854	753
	腹部	2,350	2,506	2,580	2,389	1,851
	その他	558	557	519	341	364

(注) 放射線診断部・IVR部 超音波検査室における超音波検査件数。

MR I 件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	4,000	4,080	4,100	4,002	5,407

放射線照射回数（治療）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
総 数	49,109	43,565	45,532	50,641	51,617	
放射線治療計画策定件数	1,438	1,364	1,352	1,650	1,573	
放射性物質	R A L S	58	116	95	109	100
	小 線 源	9	14	12	4	3
そ の 他	リニアック	46,481	41,020	42,943	47,515	48,619
	C T	1,091	1,016	1,117	1,354	1,317
	シミュレーター	32	35	13	9	5

一般臨床検査件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
総 数	3,082,403	3,195,147	3,381,703	3,429,166	3,498,819	
尿 検 査	28,808	29,664	31,026	31,737	32,864	
糞 便 検 査	354	322	305	232	250	
血液学的検査	954,917	984,776	1,035,217	1,044,551	1,045,347	
生化学的検査	1,632,613	1,693,151	1,804,583	1,839,245	1,889,679	
細菌学的検査 （監視培養検査）	21,140 (1,674)	22,830 (1,721)	25,293 (1,727)	22,542 (1,669)	22,413 (1,738)	
血清学的検査	230,735	240,817	254,321	258,012	269,369	
病理組織検査	8,954	9,420	9,682	9,825	9,553	
癌遺伝子検査	2,250	2,494	2,570	2,626	2,797	
細胞学的検査	7,227	8,452	7,463	6,539	5,898	
血液ガス検査	4,743	5,039	1,151	1,099	2,369	
その他	採血業務	188,279	195,891	207,792	210,722	216,328
	治験処理等	2,383	2,291	2,300	2,036	1,952

(注) () 内は内数。

機能検査件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	23,517	23,024	23,108	22,820	22,947
心 電 図 検 査	6,698	5,272	5,355	5,261	4,978
負 荷 心 電 図 検 査	2,073	2,255	2,275	2,287	2,378
トレッドミル検査	921	1,089	1,029	633	539
ホルター心電図検査	216	210	191	73	57
心臓超音波検査	2,971	3,158	3,265	3,046	3,261
肺機能検査	9,560	9,863	9,920	10,418	10,782
ピロリ菌呼吸試験	133	125	109	82	81
聴 力 検 査	120	165	153	148	96
乳腺超音波検査	825	887	811	872	775
そ の 他 検 査	0	0	0	0	0

(注) その他の検査はベクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,378,333	3,340,805	37,528	3,404,328	3,366,080	38,248	3,518,795	3,476,756	42,039
一般検査	132,924	132,859	65	133,366	133,316	50	137,194	137,159	35
血液検査	706,553	704,857	1,696	715,224	713,734	1,490	714,664	713,789	875
免疫血清検査	184,492	175,051	9,441	161,650	153,493	8,157	205,408	196,420	8,988
生化学検査	1,956,376	1,932,750	23,626	2,001,012	1,974,555	26,457	2,059,120	2,029,651	29,469
微生物検査	54,296	51,705	2,591	48,154	46,142	2,012	54,296	51,705	2,591
病理細胞診検査	109,875	109,875	0	108,786	108,786	0	105,921	105,921	0
生理検査	23,108	22,999	109	22,820	22,738	82	22,947	22,866	81
その他の検査	210,709	210,709	0	213,316	213,316	0	219,245	219,245	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

内視鏡検査件数

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	10,496	11,495	11,929	11,778
上 部 消 化 管	5,958	6,352	6,572	6,565
下 部 消 化 管	2,703	2,874	2,890	2,884
気 管 支	183	218	181	198
膵胆管造影 (ERCP)	375	501	515	464
超音波内視鏡 (EUS)	765	862	1,036	955
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	472	451	456	478
そ の 他 検 査	40	237	279	234

内視鏡治療件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	1,009	1,001	1,225	1,297	1,384
食 道 E M R	8	14	5	7	22
胃 E M R	3	2	0	0	0
大腸EMR、ポリペク	300	325	362	357	398
食 道 E S D	52	70	59	61	75
胃 E S D	84	95	85	96	92
大 腸 E S D	56	55	56	58	60
食道狭窄拡張術	213	146	197	151	190
胆道ステント留置術	179	191	327	399	409
乳頭切開術、胆道碎石術	114	103	134	168	138

手術件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	3,002	3,140	3,230	3,351	3,380
頭 頸 部 外 科	526	520	453	502	491
呼 吸 器 外 科	403	378	398	389	469
乳 腺 科	459	480	475	489	466
消 化 器 外 科	820	843	910	962	914
婦 人 科	260	285	289	255	232
泌 尿 器 科	168 (8)	216 (13)	235 (12)	239 (4)	227 (3)
整 形 外 科	237	278	297	320	381
形 成 外 科	115	117	148	145	116
そ の 他	14	23	25	50	84

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。
泌尿器科の（ ）内は小線源治療数（外数）

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	部 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
頭 頸 部 が ん	345	371	365	子 宮 頸 が ん	57	51	29
食 道 が ん	91	93	100	(円錐切除)	54	57	68
肺 が ん	302	275	330	子 宮 体 が ん	67	59	45
乳 が ん	477	419	455	卵 巢 が ん	46	35	36
胃 が ん	176	171	164	前 立 腺 が ん	52	67	51
大 腸 が ん	385	399	425	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	62	69	105
肝 ・ 胆 が ん	91	80	73	I V R	1,980	1,905	1,796
膵 臓 が ん	81	103	86	造 血 幹 細 胞 同 種	2	0	3
				移 植 自 家	1	7	7

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

区 分			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			総 数	総 数	総 数	総 数	総 数
処 方	枚 数	総 数	78,765	82,269	83,091	81,216	83,886
		外 来	7,000	7,522	8,993	10,666	11,043
		入 院	71,765	74,747	74,098	70,550	72,843
方 剤	数	総 数	156,003	169,506	174,113	173,633	178,633
		外 来	23,660	26,320	32,502	37,035	38,585
		入 院	132,343	143,186	141,611	136,598	140,048
方 剤	延 剤 数	総 数	1,284,571	1,365,204	1,439,047	1,511,444	1,631,014
		外 来	403,050	413,523	531,000	634,276	701,985
		入 院	881,521	951,681	908,047	877,168	929,029
治 験 処 方 枚 数		総 数	1,074	972	839	960	1,029
		外 来	982	908	777	881	862
		入 院	92	64	62	79	167
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	97,348	99,460	107,138	107,490	109,413
		外 来	25,777	27,630	33,023	34,841	36,398
		入 院	71,571	71,830	74,115	72,649	73,015
射 剤	数	総 数	407,913	423,163	462,085	468,751	478,369
		外 来	80,091	89,333	108,569	116,479	124,757
		入 院	327,822	333,830	353,516	352,272	353,612
薬 剤 管 理 指 導 数		人 数	6,604	4,866	6,000	7,512	6,218
		算定件数	8,397	6,390	8,247	10,128	7,829
*1 外来患者指導	常用薬調査	人 数	5,107	5,254	5,462	5,858	5,686
	窓口指導	件 数	228	219	192	206	328
*2 外来抗がん剤調製数	件数(患者数)	15,782	17,020	20,587	22,039	23,082	
	剤 数	26,419	28,639	34,146	35,801	39,039	
*3 外来抗がん剤調製数 (治験)	件数(患者数)	996	1,252	1,468	1,354	1,391	
	剤 数	1,199	1,517	1,841	1,717	1,748	
*4 入院抗がん剤調製数 (治験を含む)	件数(患者数)	8,893	8,894	9,394	8,736	8,280	
	剤 数	12,697	12,648	13,454	12,612	12,689	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		8,032	8,875	8,058	7,729	7,886	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		19,416	18,409	18,781	20,566	21,194	
T D M 実 施 件 数		142	135	262	243	205	
*5 病棟薬剤業務実施加算件数				20,812	24,287	23,855	
*6 プレアボイド報告件数						21	

- * 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上
* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上
* 3 外来抗がん剤調製数（治験）は、薬剤師が調製した分のみを計上（※1の外数）
* 4 入院抗がん剤調製数（治験を含む）は、薬剤師が調製した分のみを計上
* 5 病棟薬剤業務実施加算件数は、平成29年6月から実施した分を計上
* 6 プレアボイド報告件数は、令和元年5月からの実施分を計上

院外処方せん交付状況

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
処方せん総枚数	55,743	55,902	60,306	61,360	62,778
院内処方せん枚数(外来)	7,000	7,522	8,993	10,666	11,043
院外処方せん枚数	48,743	48,380	51,313	50,694	51,735
比率 $\left(\frac{\text{院外処方せん枚数}}{\text{処方せん総枚数}}\right) \%$	87.4	86.5	85.1	82.6	82.4

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自 己 血 液	216	124	68	28	22
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,332	4,342	4,623	4,656	5,018
他 の 赤 血 球 製 剤	0	0	0	0	8
凍 結 血 漿	902	1,046	1,054	1,588	1,094
血 小 板	8,315	9,660	10,292	7,750	9,335
そ の 他	0	0	0	0	0

2. 検査件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,488	2,343	2,542	2,531	2,701
血 液 型 (A B O)	7,155	7,472	8,603	8,124	8,825
R H 因 子	7,155	7,472	8,603	8,124	8,825
間 接 ク ー ム ス 試 験	3,144	3,316	4,227	3,692	4,254
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,518	7,059	8,581	8,101	8,821
直 接 ク ー ム ス 試 験	23	28	36	18	30

(注) 全血製剤は血液200 mlを1単位、成分製剤は血液200 mlに由来する成分を1単位とする。
他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

治験等実施件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	149	144 (1)	153 (4)	166 (2)	191 (3)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	9	13	12	18	16
製 販 後 使 用 成 績 調 査	51	53	53	52	44
そ の 他	0	1	1	0	0
合 計	209	211	219	236	251
(新 規 依 頼 分)	(59)	(54)	(52)	(56)	(63)
医 師 主 導 治 験	5	6	8	12	20

臨床研究件数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
倫理審査委員会承認件数(新規)	123	193	194	176	166
倫理審査委員会承認件数(変更)	103	117	130	104	98
合 計	226	310	324	280	264

死体解剖数

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
死 亡 患 者 数	370	346	392	315	361
解 剖 数	5	7	4	2	0
解 剖 率	1.4	2.0	1.0	0.6	0.0

研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんに関わる研究機関としての研究業務も主たる設置目的の一つに含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎・社会医学的研究及びトランスレーショナル研究が相まって、当センターの総合がんセンターとしての機能を発揮している。その研究体制は、

- (1) 研究所における分野別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 重点プロジェクト研究

の3体制で実施されている。令和2年度における研究課題は、次のとおりである。

研究所における分野別研究課題

がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

分子遺伝学分野

- 1 統合的ゲノム・エピゲノム・トランスクリプトーム解析による新規がん関連遺伝子の同定と機能解析
- 2 生殖細胞系列変異のがん発症に及ぼす影響の解明と発がんリスクフィードバック法の開発・評価

がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

システム解析学分野

- 1 統計的モデリングおよび深層学習を活用したがんゲノムデータ解析法の開発研究
- 2 臨床シーケンスへ向けたがん変異およびシステム変調情報の解釈・翻訳法の研究

腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

腫瘍免疫応答研究分野

- 1 遺伝子改変による養子免疫療法の改良開発
- 2 免疫療法抵抗性に関わる腫瘍細胞特性の解明

腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がん免疫編集のメカニズムの解明
- 2 新生抗原（ネオアンチゲン）の同定と免疫応答の解析
- 3 ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法の開発

分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がんの診断・治療個別化に有用な血液バイオマーカーの探索
- 2 網羅的分子プロファイリングによるがんの分子病態の解明と新規治療標的分子の探索

がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野

（選考中）

病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 5 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

重点プロジェクト研究課題

がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 大規模病院疫学研究を基盤とした遺伝性腫瘍のリスク群における個別化予防を志向したエビデンス創出研究
- 2 大規模病院疫学研究をベースとした環境要因・遺伝要因を用いた散发性がんの個別化予防を志向したエビデンスの創出研究

がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬に対する耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 難治癌PDXモデルのライブラリー整備とその多層的オミクス解析による統合データ基盤構築

がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 ネオアンチゲンを標的としたがんワクチン療法の開発

がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん対策、医療評価と将来予測のための、生活習慣情報、社会経済的情報、医療情報の連結データベースの構築と活用

特許の状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発 明 件 数		5	1	1	2	3
出 願 件 数		4	2	1	1	4
登 録 件 数	年 度 当 初	25	29	31	27	20
	新 規	5	4	3	2	1
	権 利 消 滅	1	2	7	10	3
	年 度 末	29	31	27	20	18
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	5	5	6	4	2
	新 規	0	1	0	0	1
	満 了 ・ 解 約	0	0	2	2	0
	年 度 末	5	6	4	2	3

(注) 出願件数には外国出願、国際（PCT）出願を含む。

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
100	86	79	96	112

公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	125,580	61,165	43,663	98,515	111,719
	件 数	17	13	21	23	21
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	59,150	52,429	50,174	42,919	46,176
	件 数	42	43	35	36	36
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	2,050	2,600	3,650	2,950	4,699
	件 数	6	8	7	7	9
A M E D (日本医療研究開発機構)	金 額	127,901	120,160	114,565	128,211	140,692
	件 数	41	41	46	53	48
J S T (科学技術振興機構)	金 額	325	0	13,000	16,900	16,900
	件 数	1	0	1	1	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	11,350	10,750	7,950	10,250	10,470
	件 数	12	13	9	7	6
そ の 他	金 額	864	1,100	800	0	0
	件 数	1	1	1	0	0
計	金 額	327,220	248,204	233,802	299,745	330,656
	件 数	120	119	120	127	121

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	119,015	52,000	37,287	96,689	110,432
	件 数	13	9	16	19	17
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	42,705	28,470	29,081	29,769	27,833
	件 数	26	21	13	22	22
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	950	850	1,550	1,650	3,299
	件 数	3	3	3	4	6
A M E D (日本医療研究開発機構)	金 額	66,620	59,650	66,606	75,041	92,062
	件 数	13	9	11	17	14
J S T (科学技術振興機構)	金 額	325	0	13,000	16,900	16,900
	件 数	1	0	1	1	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	3,800	4,300	3,400	3,400	4,400
	件 数	4	5	3	3	4
そ の 他	金 額	0	0	0	0	0
	件 数	0	0	0	0	0
計	金 額	233,415	145,270	150,924	223,449	254,926
	件 数	60	47	47	66	64

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	大阪府	
	がんセンター		がんセンター	静岡がんセンター	がんセンター	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	国際がんセンター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	S34.9.15	
病床数	500	3	503	615	400	383	415	500	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	75.4	4	73.0	88.5	71.9	75.3	86.5	88.3
	平均在院日数 (日)	11.7	3	13.3	12.2	12.3	16.8	11.4	10.1
	1日平均外来患者数 (人)	597	6	816	1,209	650	359	999	1,197
※ 収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入 (円)	63,973	6	66,358	69,031	66,799	54,302	73,494	79,877
	外来患者1人1日当たり診療収入 (円)	58,039	1	36,038	43,909	48,787	41,384	33,396	32,439
※ 繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額 (千円)	6,510	6	5,754	10,723	2,322	6,200	5,529	4,187
	一般会計繰入金対経常収益 (%)	14.9	5	14.0	18.8	5.6	19.7	10.8	7.9
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	102.0	2	98.1	99.8	101.0	102.9	92.5	99.0
	医業収支比率 (%)	93.1	4	84.9	86.4	96.7	103.3	92.7	103.1
	修正医業収支比率 (%)	88.5	3	84.7	86.0	96.7	83.5	83.3	95.1
	職員給与費対医業収益 (%)	38.3	2	47.5	38.4	42.6	41.2	38.7	35.0
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△ 5,646	4	△ 6,463	△ 10,928	△ 1,945	△ 5,305	△ 9,697	△ 5,019
	病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円)	865	2	△ 709	△ 205	377	895	△ 4,168	△ 831
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円)	3,811	3	3,308	4,822	2,012	3,470	1,651	5,383

注1 数値は「平成30年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したのから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失＋減価償却費＋資産減耗費＋繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

外来診療案内

(令和2年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分(自動再来受付機は午前8時)から午前11時30分(予約の場合は午後5時)まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日	
消化器内科	消化器疾患	月～金	
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金	
循環器科	循環器疾患	月・火・木	
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金	
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金	
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金	
形態外科	形態治療・機能再建	月～木	
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	月～金	
乳腺科	乳腺疾患	月～金	
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金	
整形外科	整形外科疾患	月・火・水・金	
脳神経外科	脳神経疾患	月～金	
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金	
婦人科	婦人科疾患	月～金	
皮膚科	皮膚疾患	月～木	
眼科	眼科疾患	火(午前)・金(午後)	
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金	
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金	
精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金〈予約制〉	
緩和ケア科	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療	火・木〈予約制〉
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療	水〈予約制〉
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療	火・木〈予約制〉
リスク評価センター	遺伝カウンセリング・ 遺伝学的検査の提供	月～金〈予約制〉	
がんゲノム外来	がん遺伝子パネル検査の提供	月・水〈予約制〉	

- ※1 リスク評価センターは、自費診療です。
- ※2 がんゲノム外来は、自費診療の場合があります。
- ※3 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています(完全予約制・自費診療)。

入院案内

(令和2年4月1日現在)

◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

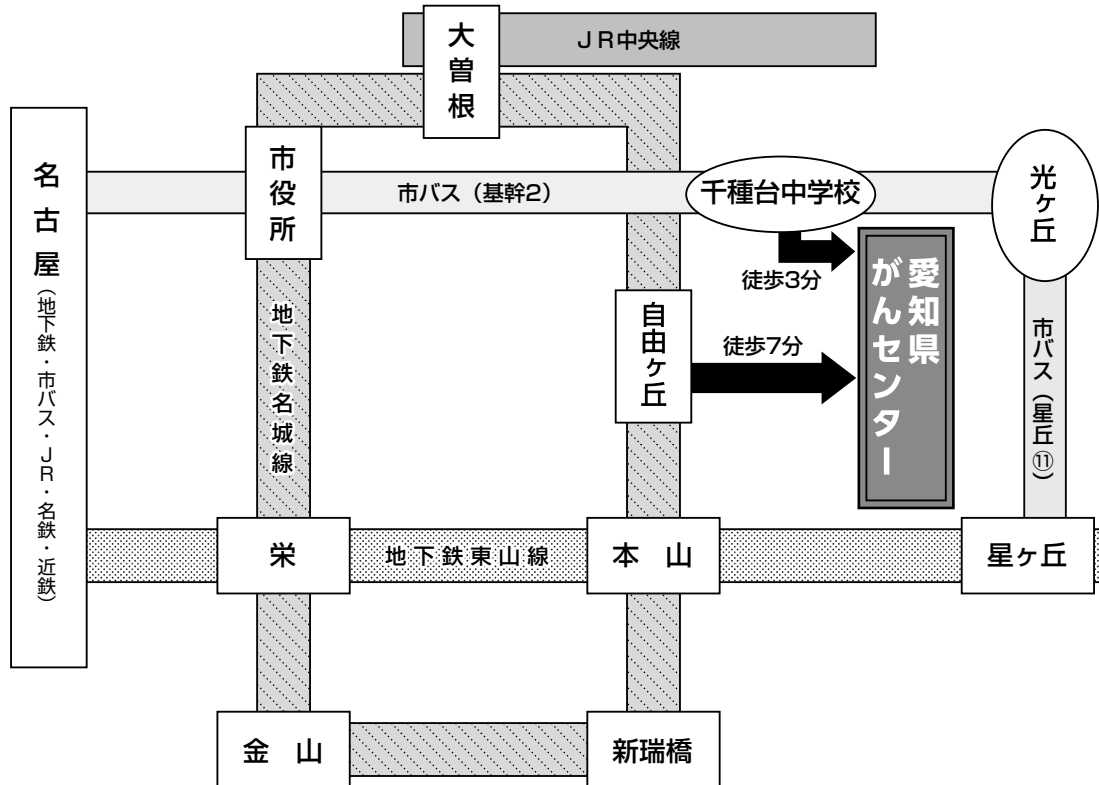
区 分	A室	B室	C室	D室
室 料 (1日につき)	33,000円	17,600円	12,650円	7,330円

(税込)

◆ 面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります(新型コロナウイルス対策のため、4月1日現在、原則面会禁止)。
 - 月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで
 - 土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
 - (1) 面会の取次ぎは、看護師にお申出ください。
 - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないようデールーム(面会室)をご利用ください。
 - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
 - (4) 敷地内は全面禁煙になっています。
 - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんの迷惑にならないようお願いします。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約20分】
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約35分】
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】
星ヶ丘⑪系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋ICより、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約10分
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療器機の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要

令和2年度

令和2年5月発行

発行所 愛知県がんセンター

名古屋市千種区鹿子殿1番1号

電話 052-762-6111 (〒464-8681)

Home Page: <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 株式会社カミヤマ

名古屋市西区那古野1丁目21番14号(〒451-0042)

電話 052-565-1118 FAX 052-565-1054



愛知県がんセンター
Aichi Cancer Center